



ROTARY CLUB OF

# NARA - WEST

DISTRICT WEEKLY BULLETIN  
2650 No. 2502 2024. 3. 14

創立 1969年(昭和44年)12月13日  
例会日 毎週木曜日18:00より  
事務所 〒630-8001 奈良市法華寺町254番地  
例会場 奈良ロイヤルホテル内  
TEL 0742-34-1131 FAX 0742-30-2000

2023~2024年度  
国際ロータリーのテーマ

2023~2024年度  
地区のスローガン



世界に希望を生み出そう

## 「個性、基本、求心力」



2023-24年度 内輪会トロフィー

国際ロータリー会長  
ゴードン R. マッキナリー

RI第2650地区ガバナー  
中野 博美

会長	中西 吉日出	副会長	有馬 康明	会長エレクト	佐川 寛一	直前会長	渡邊 巖	幹事	笹本 麻琴
会計	福川 益則	会場監督	野阪 幸男	理事	井上 直治	理事	谷垣 嘉輝	理事	川野 隆祐
理事	松中 隆	会報委員長	岡崎 義幸						

### 今月は 水と衛生 月間です

第23回(2502回)例会プログラム令和6年3月14日(木)

1. 開会宣言 点鐘
2. ソング 「ロータリーって何だろう」
3. 来訪者紹介・出席報告
4. 会長の時間
5. ニコニコ報告
6. 委員会報告・幹事報告
7. 卓話: 笹本麻琴会員 「続・明治150年真の日本の姿」
8. 閉会宣言・点鐘

### 第22回 (2501回) 例会報告 2024. 3. 7

#### ソング

「君が代」「奉仕の理想」

#### 来訪者紹介

Maxim Peter君 青少年交換学生

#### 出席報告

	会員数	出席計算 免除会員数	出席会員数	欠席者数	出席率
通算 2501 回	36	5/7	20/29	9	73.5%
通算2499回修正	36	4/7	26/29	3	90.9%

### 会長の時間 (中西会長)

皆さん こんにちは。先日、報道で、2025年の祝日が内閣府から発表されました。これは、国立天文台が2025年の暦要項を公開したことに伴い、2025年の「春分の日」と「秋分の日」が確定したことを受け、2025年の祝日を発表しました。春分の日と秋分の日は、法律で月日が決まっておらず、毎年2月に翌年の春分の日と秋分の日を国立天文台が発表しており、翌年の「春分の日」、「秋分の日」を官報で公表しています。

国民の祝日に関する法律では、春分の日は、自然をたたえ、生物をいつくむ。秋分の日は、祖先をうやまい、なくなった人々をしのぶ。と日の定義がされており、春分の日と秋分の日は、具体的な日付が定まっておらず、春分の日の場合、その年によって3月20日だったり、21日だったりします。

春分の日と秋分の日は、国立天文台が毎年、日本の天文学を担う研究機関で、二十四節気などを細かく計算し、日時を割り出し、暦要項を公表しております。そちらを確認すると、2024年の春分は、3月20日で、去年は3月21日で、太陽が春分点を通過した日が春分の日になります。地球は自転しながら、太陽の周りを回っており、1年の間にほぼ同じ日に同じ場所を通りますが、その公転日数は正確にいうと365日ではなく365プラス6時間程度かかり、毎年約6時間ずれていくため、春分の日の日付がずれることがあります。

しかし、どこまでもずれ続けるのではなく、うるう年によってきちんと調整されています。

ちなみに、今年2024年からは、うるう年を含む3年間は3月20日が春分の日で、残りの1年が3月21日という組み合わせになるそうです。

ただし、2056年から2091年までは、毎年春分の日が3月20日になると予想されています。また2050年までの春分の日、秋分の日も国立天文台から公表されております。

さて、ここで春分の日は、二十四節気のひとつで、重要な季節の節目として、立春、立夏、立秋、立冬などがあり、季節の始まりを示すしております。

また、二十四節気以外にも、季節の目安となる雑節があり、「節分」「彼岸」「土用」などはそれにあたります。近頃はカレンダーなどにも二十四節気が記されているのもよくみられます。

## 会長の時間(続き)

いにしえの時代から人々が暦として使用していた太陰暦は、月の運行のみに基づいていて、実際の季節とずれが生じ、そこでより正確に、細かく季節を把握するための暦として、地球と太陽の位置関係を基に求めたのが太陽暦、二十四節気であります。

世界各地の春分の日では、北半球が春、南半球が秋で、北半球ではこの日を境に日が長くなり、秋分の日は、この逆になります。ヨーロッパでは、春分の日をもって春の始まりとすることが多いようであります。

ペルシャ語で元旦(新しい日)を意味するノルワーズは、春分の日に行われる祝いの祭事でイラン、中央アジアを中心に幅広い地域で行われているそうです。世界的に見ても、春分の日を境に春を祝う祭りや行事を開催する地域が多いよであります。春を迎える喜びは、全世界共通かもしれません。ロータリーの目的も世界共通で、世界のネットワークを通して国際理解、親善、平和を推進して参りたいと思います。以上会長の時間といたします。

## 3.台中中区ロータリークラブの件

4月18日を含む期間に次年度会長・幹事、その他メンバーの方が訪日されるそうです。例会に参加を希望されています。4月18日は休会予定でしたが、例会を開催して、歓迎会を開催したいと思います。次年度会長、幹事が来られるので、歓迎したいと思います、当日は本年度会長、副会長がご欠席の為、エレクトが挨拶などを行います。



## 理事会報告

### 報告事項

#### 1.RYLA参加の件

地区よりRYLA受講生参加要請がありました。米山留学生の孫さんに、お話しをしたところ参加されたいとの事で、参加申し込みしております。

#### 2.卓話について

3月7日は会員卓話は笹本が行います。「明治150年真の日本の姿」です。3月14日も会員卓話、笹本が行います。「続・明治150年真日本の姿」です。

#### 3.3月21日は休会

4.3月28日はクラブフォーラム(津山会員米寿の御祝)でしたが、津山会員がとても参加できる状態ではないとの事で、例会内で米寿のお祝いを報告しますが、クラブフォーラムはおこなわず、通常例会で卓話を行います。奈良市の職員の方に依頼しております。能登半島地震の事を卓話していただきます。

タイトルは決まっています。

5.4月11日も市の職員様にて卓話おこないます。タイトル未定です。

### 審議事項

#### 1.第22回RI台湾囲碁大会の件

台湾にて囲碁大会が開催されます。参加について審議しました。参加しない事になりました。

#### 2.新入会の件

入会に関して異議申し立てが6件ありました。その件について審議しました。今回の入会は、見送る事になりました。

## ニコニコ報告

### 中西吉日出会長

笹本幹事、今日の卓話楽しみにしております。どうぞよろしくお願いいたします。

### 北林秀彦P会長

3月になり東大寺の修二会も始まり、気分的にも春という感じになりました。笹本会員の卓話楽しみにしています

### 杉村仁P会長

最近なぜかつらいです。自分のこころがけかもと、つらいです。いろいろと考えたりします。

### 佃尚彦P会長、渡邊巖P会長、松山悦啓会員、植田良壽会員、加藤又拓会員

本日と次週は笹本幹事の卓話です。2週にわたり”明治150年真の日本の姿”というタイトルです。笹本さんの明治以降の歴史観を伺ういい機会です。独断の偏見楽しみにしています

### 植野洋志P会長、谷垣嘉輝会員、下村由加里会員、木村和弘会員、岡崎義幸会員、丸山佳映会員

笹本幹事、今日と次週2週続けて卓話ありがとうございます。楽しみにしております。



■3月生まれ■

井上 直治会員 3月16日生まれ  
 下村 由加里会員 3月22日生まれ  
 品川 賢太郎会員 3月22日生まれ

皆様おめでとうございます

例会変更情報は表の掲示板に掲載しております。



卓話

「明治150年真の日本の姿」

笹本 麻琴 会員

連綿と続く日本の歴史の中で今から150年前の明治維新は大きな変革でした。これからの日本の発展のため、明治維新から150年を迎えた今、本当の日本の姿を紐解く、そんな卓話にしたいと思います。

江戸時代から明治時代への移行は、日本の未来を考える上で重要な節目でした。江戸時代の日本は遅れていたと言われてますが、実際にはその文化や知識は世界にも知られていました。数学者の関孝和は、和算の発展に貢献し、ベルヌーイ数の先駆者でもありました。また、林羅山が開いた昌平坂学問所は、現在の東大の前身であり、日本人としての智慧を大切にされた場所でした。このような歴史的背景を振り返りながら、今後の日本の発展を考える手がかりを探っていきたいと思います。

浅田飴を開発した医者、浅田宗伯の面白い話があります。幕末頃に日本に滞在していた、フランス語公使のレオンロッシュはひどい腰痛のため公務がままならない状態でした。フランスから呼んだ医者たちはリュウマチの薬を処方しましたが、効果はなく、腰痛は治りませんでした。そこで紹介された医者、浅田宗伯による治療で、たった1週間で完治しました。レオンロッシュは感激し、フランスの皇帝に手紙を書き、新聞に報告され、浅田宗伯の名前はヨーロッパ中に広まりました。ナポレオンまでもが感激し、彼に感謝の気持ちを込めて時計と絨毯を贈りました。

また、ドイツのマイセン地方で生産される磁器は、当時ヨーロッパで珍しい白い磁器でした。日本製の磁器と同じものをドイツで作れば、大儲けできると考えられました。日本産の品物は高く評価されていたこともあり、この開発に成功しました。

江戸時代の日本は文化レベルが高く、その文化がヨーロッパと出会うことでさまざまな葛藤が始まりました。そして、嘉永6年にペリー率いる黒船が訪れ、日本は明治時代へ向かう新しい時代を迎えました。アメリカ側には深い理由があり、南部諸州は綿花の農場で儲けていましたが、北部は産業的な発展が乏しく、クジラ捕りが主な産業でした。ペリーは日本に開国を迫り、日本は大変慌てました。

ペリーは世界最新式の大砲を船に搭載し、黒船に積んでいたペクサン砲(別名カノン砲)は炸裂弾を水平に発射できる驚異的な兵器でした。幕府はペリーの来航を予測しており、彼の意図も把握していました。ペリーの



蒸気船の武装や目的も把握していたため、一旦帰国して1年間の猶予をもらう交渉が行われました。

ペリーの再来航に備えて、幕府はお台場と呼ばれる人工の島を作成しました。この島は十字砲火を浴びせるための砲台として設計され、市民の安全を守る役割を果たしました。ペリーとの交渉により、横浜で日米和親条約が締結され、アメリカの船が日本で休むことができるようになりました。

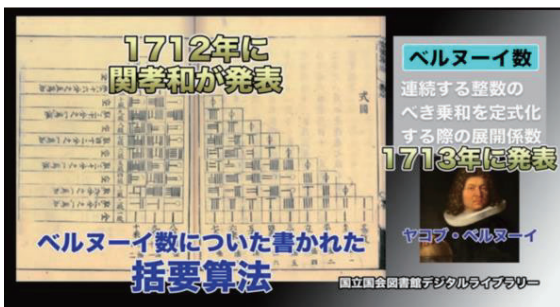
しかし、その後問題が発生します。公使のタウンゼント・ハリスが日米和親条約の細則を定め、金銀の両替相場を固定相場にすることが決まりました。日本は元々金の豊富な国であり、一般の庶民も小判を身に着けていました。しかし、香港では金銀の両替相場が異なり、日本から大量の金がアメリカに流出しました。幕府は金の含有量を減らした万延小判を発行し、金銀の両替相場を調整しました。

そしてアメリカでは南北戦争が起こり、南軍が負けました。南軍が持っていた大砲や銃、軍服などが余っていましたが、これらの装備を売りつけてキャッシュを巻き上げることで、日本から大量の金が流出しました。

日本人はお互いのためを思って、お互いに利益になるようにということを考えますが、そうではなくて一方的に利益が流れるような形になってみたり、あるいはやらなくてもいいような戦争を仕掛けられてしまったりということがあるといことは、ぜひ学んでいただきたいと思う次第であります。

また日本の歴史というものもその日本国だけを見ていると、やはり歴史ってわからない、当時の国際情勢の中における、日本っていうものを考えていかなければいけないと思います。

現在日本を考えると日本単独で、良い国と思ったところでたぶん何も変わらない、むしろ、国際関係の中にあって、日本がこれからもっと良い地位を占めていくためにはどうしたらいいのか、本当に世界中の人たちが、日本人も幸せになるけども、世界中の人たちも、幸せになっていくということを考えるにはどうしたらいいのか、そういう切り口で、物事を考えていかなければいけないと思います。



第24回 (通算2503回)例会予告  
例会日 令和6年3月28日(木)

卓話:「能登半島の現状」  
奈良市危機管理監 下畑 宏様

◎3月21日は休会です